

令和7年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況

の点検及び評価結果に関する報告書

(令和6年度対象)

令和8年1月

石岡市教育委員会

目 次

1. 点検・評価制度の経緯・目的

- (1) 経緯 2
- (2) 目的 2

2. 点検・評価の概要

- (1) 点検・評価の対象 3
- (2) 点検・評価の方法 3
- (3) 学識経験者の知見の活用 3

3. 各事業の取組実績に対する点検・評価

- (1) 事業名一覧 5
- (2) 歴史・文化財の保存・活用 6
- (3) 観光の振興 8
- (4) スポーツを通じた関係人口の拡大 9
- (5) 乳幼児期支援の充実 10
- (6) 子育て家庭支援の充実 11
- (7) 個別の事情を踏まえた子ども・家庭支援の充実 . . . 13
- (8) 創意ある学校教育の推進 14
- (9) 地域と連携した教育の推進 18
- (10) 学校教育環境の整備・充実 21
- (11) 生涯学習の推進 22
- (12) スポーツの振興 23
- (13) 文化芸術の推進 24

4. 令和6年度教育委員会の点検評価における点検・評価委員の

- 意見に対する令和7年度の取組状況 26

5. 参考資料

- 33

1. 点検・評価制度の経緯・目的

(1) 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から施行されました。

これにより、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正目的である教育委員会の責任体制の明確化の一つとして、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

(2) 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、学校教育、社会教育等に関する事務を執行する行政機関として、全ての都道府県及び市町村に設置されている行政委員会です。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、複数の教育委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、事前に教育委員会が立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後に点検・評価を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

石岡市教育委員会では、主要な施策や事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題の取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進及び市民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進することを目的として、その結果を報告書としてまとめました。

◆地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）◆

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の概要

(1) 点検・評価の対象

《『第2期基本計画』で掲げた政策目標を達成するための

基本施策・主要事業を中心に点検・評価》

令和13年度までの長期的な将来構想である『基本構想』における将来像「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」の実現に向け、市の抱える課題や多様な市民ニーズに的確に対応するため、令和6年度から令和9年度までの4年間の行動計画として、『第2期基本計画』が策定されています。

そこで掲げた9つの政策目標のうち、教育委員会では、「歴史・観光」、「子育て・教育・学び」、「地域・文化」の中の12の基本施策が該当いたします。

今回、点検・評価する事務事業は、教育委員会事務局各課（館）が所管している令和6年度事業で掲げた主要事業及び、前回の点検評価で意見を付された事業について実施いたしました。

なお、教育委員会事務局組織機構については、33ページ『参考資料①』のとおりです。

(2) 点検・評価の方法

《事務事業分析シートを活用しての点検・評価》

点検・評価の方法については、各教育委員会の創意工夫により行うものとされています。

今回、点検・評価をするに当たり、石岡市で作成している事務事業分析シートを基に点検・評価表を作成し、担当課による今後の課題・問題点、今後の方向性についての自己点検・評価を行いました。

その後、2名の石岡市教育事務点検・評価委員（教育に関し学識を有する方として教育委員会から委嘱）から、自己点検・評価の結果について、ご意見・要望等をいただきました。

(3) 学識経験者の知見の活用

《石岡市教育事務点検・評価委員》

教育に関し学識経験を有する者（以下「点検・評価委員」という。）の知見の活用については、点検・評価の客観性を確保するためのものです。

なお、石岡市教育事務点検・評価委員要綱については、34ページ『参考資料②』のとおりです。

【石岡市教育事務点検・評価委員】

氏 名	備 考
濱 田 裕 信 氏	元学校長
関 川 恵 一 氏	元市 P T A 連絡協議会会長

私たちは、石岡市教育委員会の活動について、教育委員会が自ら行った「点検及び評価」を評価するに当たり、事前に関係資料に基づく情報収集を行いました。

その上で、各事業担当課職員からヒアリング等を行い、石岡市における教育行政の現状や課題の把握、今後の対応方針や方向性等を確認し、また、前回の各事業に対する意見への取組状況などの説明を受け、対象となった事業に対し、それぞれ意見を述べました。

少子高齢化が進行し、財政状況もますます厳しさを増す中ではありますが、引き続き各事業の見直しと効率的かつ効果的な事業運営を行うとともに、点検及び評価や本意見等を精査し、必要に応じた適切な予算の確保・団体等への支援及び予算額の適正な執行に努めてください。

この事業評価が、適正かつ効果的な教育施策に反映されるよう、さらなる教育行政の推進を期待します。

令和 8 年 1 月

石岡市教育事務点検・評価委員 濱 田 裕 信

同 関 川 恵 一

3. 各事業の取組実績に対する点検・評価

令和7年度点検・評価事業名一覧（令和6年度実施事業）

P	第2期基本計画 基本施策名	事業名	担当課
6	歴史・文化財の保存・活用	発掘調査	文化振興課
7	歴史・文化財の保存・活用	文化財保護保存及び普及	文化振興課
8	観光の振興	筑波山地域ジオパーク推進事業	文化振興課
9	スポーツを通じた関係人口の拡大	スポーツイベントの実施	スポーツ振興課
10	乳幼児期支援の充実	ブックスタート事業	生涯学習課 中央図書館
11	子育て家庭支援の充実	放課後児童クラブの充実	生涯学習課
12	子育て家庭支援の充実	家庭の教育力向上と育児参加の促進	生涯学習課
13	個別の事情を踏まえた子ども・家庭支援の充実	教育支援センター運営事業	学校教育課 教育支援センター
14	創意ある学校教育の推進	学校いきいきプラン推進事業	教育総務課
15	創意ある学校教育の推進	ギガスクール構想の推進	教育総務課 学校再編推進室
16	創意ある学校教育の推進	語学指導事業	学校教育課
17	創意ある学校教育の推進	学校給食調理事業	学校給食課
18	地域と連携した教育の推進	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
19	地域と連携した教育の推進	青少年相談員の活動支援	生涯学習課
20	地域と連携した教育の推進	青少年育成事業	生涯学習課
21	学校教育環境の整備・充実	学校統合再編事業	教育総務課 学校再編推進室
22	生涯学習の推進	公民館における講座等の開催、団体活動の支援	中央公民館
23	スポーツの振興	スポーツ推進事業	スポーツ振興課
24	文化芸術の推進	美術展・文化祭等の開催	文化振興課
25	文化芸術の推進	文化芸術活動団体への支援	文化振興課

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	発掘調査	担当課	文化振興課
-----	------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	歴史・文化財の保存・活用
--------------	--------------

事業の目的・概要	<p>国民共有の財産である埋蔵文化財を保存・保護します。 市内の開発行為地や県が主体となる事業地内の発掘調査を進めます。 茨城廃寺跡や茨城郡家推定地の範囲調査及び瓦塚窯跡の出土遺物の整理作業を進めます。 出土した遺物の保存処理を行います。</p>
----------	---

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		15,278	17,992	84.9%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		29,095		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	開発行為に伴う試掘件数	市内の開発行為に係る試掘調査件数	60件	79件	131.7%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	市内全体の発掘調査箇所数	市内における試掘調査及び発掘調査件数	61件	82件	134.4%

課題・問題点	<p>開発件数は増加傾向にあり、開発行為者や土地所有者と協議をしながら、調査を進めていく必要があります。 出土した遺跡を適正に管理していくため、継続して保存処理を進めていく必要があります。</p>
--------	--

今後の方向性・担当課の自己評価	<p>埋蔵文化財の保護を念頭に、今後も開発行為者や土地所有者と協議をしながら調査を実施します。 また、遺跡から発掘された遺物については、適正な管理を継続して実施します。</p>
-----------------	--

点検・評価委員の意見	<p>発掘調査については目標を上回る件数を実施しているようだが、出土品の保存と活用が課題になっていると思う。新たな施設の確保となると難しいかもしれないが、貴重な品なので、保存・活用も検討していただきたい。</p>
------------	--

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	文化財保護保存及び普及	担当課	文化振興課
-----	-------------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	歴史・文化財の保存・活用
--------------	--------------

事業の目的・概要	<p>貴重な文化財の保護・保存のため、歴史・文化財に対する理解と普及啓発を図ります。</p> <p>文化財保護審議会等を開催します。</p> <p>指定文化財修理費の補助等による文化財の保存を行います。</p> <p>国指定史跡等の維持管理を行います。</p> <p>ふるさと歴史館を活用し市内外の来館者へ当市の魅力を伝えます。</p>
----------	--

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		50,722	60,523	83.8%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		74,090		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	文化財の指定・登録件数	国・県・市の指定・登録文化財数	145件	144件	99.3%
	歴史ボランティアの会の会員数	石岡市歴史ボランティアの会の会員数	27人	26人	96.3%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	ふるさと歴史館の来場者数	市の歴史を紹介するふるさと歴史館の入館者数	1,500人	2,674人	178.3%

課題・問題点	<p>現在の施設では、出土した遺物や寄贈された文化財を適正に保管することが難しい状況です。</p> <p>文化財の保存・活用を進めるためには、計画的に予算を確保するとともに、専門的な知識を有する職員の配置が必要です。</p>
--------	--

今後の方向性・担当課の自己評価	<p>貴重な文化財を後世に伝えるため、施設を含め保存管理に必要な措置を講じます。</p> <p>文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保護体制の確立や魅力発信等に努めていきます。</p>
-----------------	--

点検・評価委員の意見	<p>文化財とまではいかないが、各家庭に残っている古い農具や生活用具の中にも興味深いものがたくさんあると思う。市内には拠点と呼べる施設が無く、歴史を伝える拠点づくりが必要だと思うので、保管・展示できる場所の確保をお願いしたい。</p>
------------	---

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	筑波山地域ジオパーク推進事業	担当課	文化振興課
-----	----------------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	観光の振興
--------------	-------

事業の目的・概要	筑波山地域ジオパークについて観光・文化・教育等多角的に周知・啓発を行うとともに、周辺環境の整備により、交流人口の拡大を図ります。
----------	--

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		2,548	3,745	68.0%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		2,890		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	ジオツアー・ジオ授業実施件数	ジオツアーやジオ授業等関連する事業の実施件数	10件	16件	160.0%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	日本ジオパークの認定維持	筑波山地域ジオパークの認定を維持する。認定された状態を1とする。	1	1	100.0%

課題・問題点	令和6年度の再認定時の課題として、教育の推進やガイドの養成が挙げられたことから、次回の再認定に向けて対応していく必要があります。
--------	--

今後の方向性・担当課の自己評価	再認定に向けて、学校教育との連携を強化し、ふるさと学習等におけるジオパーク授業を増やしていくことにより、ジオパークとの関連性を踏まえた地域資源の魅力を発信するとともに、次世代を担う子どもたちの郷土愛の醸成を図ります。 また、構成6市や認定ジオガイドと連携した取り組みを行います。
-----------------	--

点検・評価委員の意見	対象が非常に大きく説明がないと分かりにくいことから、何か興味を引くようなものがあればよいと思う。小中学校への出前授業なども行っているようなので、ぜひ郷土愛の醸成につなげていただきたい。 また、筑波山地域ジオパークは6市にまたがる地域なので、構成自治体との連携も大切にしていきたい。
------------	---

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	スポーツイベントの実施	担当課	スポーツ振興課		
第2期基本計画基本施策名	スポーツを通じた関係人口の拡大				
事業の目的・概要	誰もが楽しみながら参加できるようなスポーツイベントを開催することで、体力づくりと運動意欲増進を図ります。				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円) 21,036	予算額計(千円) 17,240	執行率(%) 122.0%	
	令和7年度	予算額計(千円)			
		17,105			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	石岡つくばねマラソン	マラソン申込者数	2,800人	3,322人	118.6%
	スポーツイベント開催事業	スポーツフェスティバル～みんなで楽しくわくわく～	350人	290人	82.9%
	筑波蓮山天空ロード&トレイルラン	トレイルラン申込者数	800人	815人	101.9%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	スポーツイベント参加者数	スポーツイベント参加者数	3,950人	4,427人	112.1%
課題・問題点	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、各種大会が通常開催可能となっていますが、コロナ禍による休止期間を挟んだことで運営能力が低下し、大会を再開できない事業(剣道大会等)が出てきています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	今後も、各関係団体と連携を図りながら、市民のニーズに即した魅力ある事業を企画・実施していきます。				
点検・評価委員の意見	ハーフマラソン大会には、市内外から多くの方が参加してくれているようでよかった。近隣の市町村では自転車も盛り上がっているようなので、自転車のイベントも開催できるとよいと思う。いずれにしても、楽しいイベントが開催されるから競技を続ける人もいると思うので、今後も継続していただきたい。				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	ブックスタート事業	担当課	生涯学習課 中央図書館
-----	-----------	-----	----------------

第2期基本計画基本施策名	乳幼児期支援の充実
--------------	-----------

事業の目的・概要	子どもたちの本との出会いや本に触れあう機会を創出し、子どもたちの成長に応じた読書の習慣化を支援するため、乳児検診の際に絵本を進呈し、保護者も含めて読み聞かせを行うことで、子どもの読書環境の整備を推進します。
----------	---

事業コスト	令和6年度	決算額計 (千円)	予算額計 (千円)	執行率 (%)
		1,312	1,321	99.3%
	令和7年度	予算額計 (千円)		
		1,597		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	ブックスタート (4~5カ月児)	ブックスタート実施回数	12回	12回	100.0%
	ブックスタート (1歳児) 読み聞かせ	ブックスタート読み聞かせ実施回数	12回	12回	100.0%
	ブックスタートボランティア	ブックスタートボランティア登録人数	30人	15人	50.0%
	セカンドブック (2歳児)	セカンドブック実施回数	12回	12回	100.0%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	ブックスタート参加人数	ブックスタート	404人	293人	72.5%

課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 親子間での継続した読書環境の推進 ブックスタート (読み聞かせ) ボランティアの確保
今後の方向性 ・担当課の自己評価	継続した親子間での読書環境の推進を図るため、ブックスタートの拡充事業として令和6年度からセカンドブック事業を開始しました。引き続き、読書習慣の支援や図書館利用の促進を図っていきます。
点検・評価委員の意見	本と親しむきっかけづくりとしてとても大切な事業だと思うので、こういった事業は今後も続けていただきたい。読み聞かせボランティアの確保が課題となっているようなので、市報などを活用して積極的に募集していただきたい。

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	放課後児童クラブの充実	担当課	生涯学習課
-----	-------------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	子育て家庭支援の充実
--------------	------------

事業の目的・概要	就労等のため放課後に保護者がいない家庭の児童が、安全・安心に過ごせる居場所を提供するとともに、児童の健全育成を目的に児童クラブを設置・運営しています。
----------	---

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		294,884	320,386	92.0%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		325,262		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
		受入児童数	児童クラブに在籍する児童数(年度末時点)	800人	860人

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
		待機児童数	入所希望者で児童クラブに在籍できない児童数	0人	0人

課題・問題点	支援員の質の向上と多様な保護者ニーズに対応するため、民間事業者へ運営を委託し、多彩な研修を行うなど質の高い保育ができるようになりました。就労世帯の増加に伴い入所児童が増加しており、保育教室の確保が課題となっています。
今後の方向性・担当課の自己評価	運営を民間事業者へ委託したことにより、支援員の質の向上や利用者の問題などを迅速に解決できるようになりました。今後も引き続き、民間事業者による安定した運営と良質なサービスを提供していきます。
点検・評価委員の意見	学年に関係なく子供同士が交流し関係づくりをする場としてとても重要な事業だと思う。大きな問題は発生していないようで安心したが、引き続き、委託先の民間事業者と協力して質の高いサービスを提供していただきたい。

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	家庭の教育力向上と育児参加の促進	担当課	生涯学習課
-----	------------------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	子育て家庭支援の充実
--------------	------------

事業の目的・概要	全ての教育の出発点として重要となる家庭教育の充実のため、また、複雑化する家庭教育についての問題解決のため、家庭教育力向上推進委員会の設置や訪問型家庭教育、家庭教育学級や子育て学習講座等の各種事業を実施しています。
----------	--

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		641	1,541	41.6%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		1,493		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	相談回数	家庭教育支援員への相談回数	20回	5回	25.0%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	長期欠席児童生徒数	30日以上小中学校を欠席した児童生徒数(病欠等含む)	84人	165人	50.9%

課題・問題点	幼稚園及び保育園、小中学校での家庭教育学級の実施回数及び参加人数は前年度より増加しましたが、依然としてコロナ禍前の水準には戻っていません。また、保育所では家庭教育学級を開設することが難しい状況にあります。
--------	--

今後の方向性・担当課の自己評価	就学時健康診断後に個別面談を行い、就学児を持つ保護者に対して支援をすることができました。今後も、オンラインや動画視聴、家庭教育だよりの作成・配布など、保護者の就労に関わらず、悩み・困り事に対応できるよう創意工夫を図っていきます。
-----------------	--

点検・評価委員の意見	長期欠席者が依然として多いようだが、原因が家庭環境にある場合も見受けられる。支援員への相談回数が少ないようなので、支援を必要としている保護者に制度の存在が伝わるよう、周知にも力を入れていただきたい。
------------	---

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	教育支援センター運営事業	担当課	学校教育課 (R7年度新規事業)
-----	--------------	-----	---------------------

第2期基本計画基本施策名	個別の事情を踏まえた子ども・家庭支援の充実
--------------	-----------------------

事業の目的・概要	児童生徒不登校の未然防止と社会復帰を図るため、教育相談室を設置し、相談員による相談体制を整備しています。また、障がいがある児童生徒への支援や、スクールソーシャルワーカーの派遣等により各校の実態を踏まえた指導・支援を行うほか、市内小中教育活動の推進を図るため、計画・指定訪問による指導助言の充実を図ります。
----------	--

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
	令和7年度	予算額計(千円)		
		61,711		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	教育相談室の設置	教育相談室への通級者数(延べ人数)	20人	23人	115.0%
	教育支援委員会の運営	教育支援委員会の開催回数	6回	6回	100.0%
	スクールソーシャルワーカーの派遣	スクールソーシャルワーカーの派遣回数	250回	1186回	474.4%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	教育支援委員会による支援	教育支援委員会により支援を受けた児童生徒数	550人	535人	97.3%

課題・問題点	教育相談室の通級者は増える傾向にあり、専門的な知識を持つ医師やカウンセラー等から、継続的な支援や助言を得られるような体制が必要です。
--------	--

今後の方向性・担当課の自己評価	教育支援センターを設置したことで、来所のし易さが向上し、様々な教育相談を受ける機会が増加すると考えられます。相談内容の多様化・複雑化が進んでいる傾向にあり、専門的な支援活動を継続的に実施する必要があります。
-----------------	---

点検・評価委員の意見	学校から離れたことにより、これまで利用をためらっていた方にも利用しやすくなったと思う。旧学校施設の利点を生かし、校庭を活用したイベントの実施なども検討していただきたい。また、外国にルーツを持つ子供たちには、生活を通して日本語や日本文化を学ばせる取り組みを検討していただきたい。
------------	--

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	(小学校・中学校) 学校いきいきプラン推進事業	担当課	教育総務課
-----	----------------------------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進
--------------	-------------

事業の目的・概要	多様な経歴を有する社会人を講師とした学習活動、校外学習等（社会科見学、福祉活動、地域住民との交流等）の授業を行い、各小中学校の独自性を尊重しながら、事業計画に基づいた特色ある事業を展開することにより、児童生徒の生きる力を育成します。
----------	--

事業コスト	令和6年度	決算額計（千円）	予算額計（千円）	執行率（%）
		11,683	14,732	79.3%
	令和7年度	予算額計（千円）		
		14,762		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	計画事業件数 (小学校)	各小学校で計画・実施した年間事業件数	200件	143件	71.5%
	計画事業件数 (中学校)	各中学校で計画・実施した年間事業件数	30件	26件	86.7%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	地域や社会をよくするために何かしてみたいか	全国学力・学習状況調査による地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	74.0%	84.2%	113.8%

課題・問題点	各小中学校が独自性をもって計画・実施できる事業として一定の成果を上げていますが、財政状況が厳しさを増す中、事業内容や予算配当について精査が必要となっています。
--------	---

今後の方向性 ・担当課の自己評価	限られた予算を有効に活用できるよう、学校教育課などとも連携を図りながら、既存事業にとらわれない、より質の高い事業を検討・実施していく必要があります。
---------------------	--

点検・評価委員の意見	6年間クラス替えのない学校が多い中で、他校の児童と意見交換することも必要だと思う。今後の統合を見据えて複数校での事業実施を検討されたい。
------------	--

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	ギガスクール構想の推進	担当課	教育総務課 学校再編推進室
-----	-------------	-----	------------------

第2期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進
--------------	-------------

事業の目的・概要	1人1台端末を活用し、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する国の教育政策であるギガスクール構想を推進します。
----------	---

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		105,456	109,042	96.7%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		224,295		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	1人1台端末の更新	小中学校で端末更新が完了した台数	5,015台	0台	0.0%
	ネットワーク速度	必要なネットワーク速度が確保されている学校の割合	100%	5.0%	5.0%
	ICTを活用できている教員	PCなどの利用場面を計画して活用できる教員の割合	100%	60.9%	60.9%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	ICT機器が勉強の役に立つと感じるか	全国学力・学習状況調査によるICT機器の活用で自分のペースで理解しながら学習できると回答した児童生徒の割合	90.0%	87.8%	97.6%

課題・問題点	1人1台端末の整備から5年以上が経過し、端末の老朽化や故障が増えてきていることから、端末更新が必要です。また、ネットワークの通信速度が低い学校もあり、回線契約の見直しが必要です。
--------	---

今後の方向性・担当課の自己評価	令和7年度に中学生の端末更新が完了し、今後は小学生の端末更新を行います。また、ネットワーク速度の高速化を目的とした、回線契約の見直しを行います。
-----------------	--

点検・評価委員の意見	通信環境の改善を予定しているようだが、自宅の通信環境と比べるとどうしてもストレスを感じてしまうと思う。端末更新と併せて通信環境の改善にも力を入れていただき、学習環境の充実をお願いしたい。
------------	---

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	語学指導事業	担当課	学校教育課		
第2期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進				
事業の目的・概要	<p>中学校における英語教育の更なる充実を図るため、市内5中学校では、ALTによる訪問指導を実施しています。さらに、平成21年度から小学校5・6年生を対象に外国語活動が導入されたため、小学校においてもALTによる訪問指導を開始し、現在は小学校3年生以上を対象に実施しています。</p>				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円) 66,898	予算額計(千円) 66,898	執行率(%) 100.0%	
	令和7年度	予算額計(千円) 73,920			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	英語に興味を持つ児童数の割合(小学校)	英語でもっと会話したいと思う児童数の割合(アンケート:学校教育課実施)	95.0%	87.6%	92.2%
	英会話県大会出場校数	英語プレゼンテーション大会の県大会に進出した学校数	2校	0校	0.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	学習意欲の向上	いろいろな国の言葉や文化について興味を持つ児童の割合(アンケート:学校教育課実施)	95.0%	89.0%	93.7%
課題・問題点	<p>英語の免許を所持していない小学校教員がいる中、より効果的な外国語の授業を実施するためには、ALTとの連携・協力により、生きた英語に触れる機会を創出することが大切です。また、中学校においては、ALTによる訪問指導を通して、英語を母語とする方との対話や交流の機会を増やすことにより、ネイティブな英語による実践的な授業を行えるようにしていくことが課題です。</p>				
今後の方向性・担当課の自己評価	<p>小中学校の教員による交流授業や研究授業を通して、授業の進め方や学習内容が共有されてきています。今後は、小学校で英語に親しんだ子どもたちが、中学校の授業にもスムーズに馴染めるよう、一貫性のある指導を継続的に進めます。また、オンライン授業により、小中学校の垣根を越えた英語による交流を図っていきます。</p>				
点検・評価委員の意見	<p>言語だけでなく、異文化に触れあう体験も重要だと思うので、文化的な交流も検討していただきたい。また、できるだけ多くの子供たちに会話の機会を創出するため、ICTなども活用して1対1での対話ができる環境づくりをお願いしたい。</p>				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	学校給食調理事業	担当課	学校給食課		
第2期基本計画基本施策名	創意ある学校教育の推進				
事業の目的・概要	市内小中学校の児童・生徒、教職員分の給食を調理・配送し、安全・安心な給食を提供するとともに、生活における食事の大切さを指導します。				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		324,472	324,778	99.9%	
	令和7年度	予算額計(千円)			
		335,821(内6,378千円は農政課配当)			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	食育指導実施回数	給食指導回数	140回	104回	74.3%
	地場産物の活用	第3次健康いばらき21プラン 目標値50%以上(H30~R5年度)	78.0%	73.0%	93.6%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	給食提供における食中毒等の発生防止	食中毒及び調理事故等による給食停止件数	0件	0件	100.0%
課題・問題点	<p>食材等の物価高騰が進む中、特に、令和6年度は米の値上がりが大きく、当初予算額では予算が不足し、補正にて賄材料費を増額しました。</p> <p>毎年、材料費が値上がりする中で、献立作成に大変苦慮している状況です。</p>				
今後の方向性・担当課の自己評価	令和6年度から、食育と地域の活性化を目的とした有機農産物の賄材料費を計上しており、今後も継続していきたいと考えています。				
点検・評価委員の意見	衛生管理がしっかりできているようで安心した。アレルギーや文化的な事情により特別な対応が必要となるケースも増えていると思うが、引き続き適切な事業運営をお願いしたい。				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	生涯学習課		
第2期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進				
事業の目的・概要	<p>様々な体験学習・交流活動等を定期的・継続的に提供し、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育みます。 また、世代間交流や、地域社会の子どもを育てる教育力の向上を図ります。</p>				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円) 46	予算額計(千円) 110	執行率(%) 41.8%	
	令和7年度	予算額計(千円) 50			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	実施校数	放課後子ども教室を実施した校数	15校	15校	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	参加児童・幼児数(延べ人数)	放課後子ども教室に参加した延べ人数	3,000人	6,103人	203.4%
課題・問題点	放課後子ども教室は、主に市内小学校施設を使用して実施しているため、児童数等学校の規模により、活動場所の確保や参加に伴う下校時の人数減が懸念される等の課題があります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	民間活力の導入や学校の理解により、大きな怪我や事故がなく、多様な体験活動・交流学习等を安全・安心に実施することができました。今後も学校や委託業者と連携を図り、活動場所の確保や下校時の地域による見守りの協力など支援体制の強化を目指します。				
点検・評価委員の意見	すべての小学校で放課後子ども教室が実施されており、参加者数も目標を大きく上回っている。学童保育の利用者だけでなく、外部からの参加も可能とのことなので、目標値の見直しを検討されたい。				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	青少年相談員の活動支援	担当課	生涯学習課		
第2期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進				
事業の目的・概要	青少年の非行を未然に防止し、健全な青少年を育成するために、青少年相談員による街頭活動及び青少年相談員協議会の各種活動を補助支援します。				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円) 6,575	予算額計(千円) 7,566	執行率(%) 86.9%	
	令和7年度	予算額計(千円) 7,693			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	街頭巡回指導活動	定期・早朝・日没・一斉・祭礼時の巡回指導回数	70回	65回	92.9%
	広報紙発行	「青少年相談員だより」の発行回数	2回	2回	100.0%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	声かけ回数	青少年相談員が街頭巡回指導活動の際に青少年に声をかけた回数	3,900回	2,443回	62.6%
課題・問題点	地域の人口減少に伴って、青少年相談員の成り手不足や高齢化が進んでおり、青少年の健全育成と非行防止を図るうえで、新たな担い手の確保について課題があります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	青少年相談員の街頭巡回指導回数は前年度(61回)より増えました。今後も巡回指導時の青少年への関わり(声かけ等)を積極的に行い、青少年の健全育成、非行防止を推進していきます。				
点検・評価委員の意見	青少年相談員は子供からの認知度も高く、重要な事業だと思うので、支援していただけるのはありがたい。一方、高齢化が進んでおり、子どもとコミュニケーションを取りやすい若い人材が不足しているようなので、引き続き支援をお願いしたい。				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	青少年育成事業	担当課	生涯学習課
-----	---------	-----	-------

第2期基本計画基本施策名	地域と連携した教育の推進
--------------	--------------

事業の目的・概要	青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、青少年を育てる石岡市民の会等による各種活動を補助支援します。
----------	---

事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)
		6,575	7,566	86.9%
	令和7年度	予算額計(千円)		
		7,693		

事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	「少年の主張」県大会応募数	市内中学校からの「少年の主張」県大会への応募数	10人	10人	100.0%
	家庭の日絵画・ポスターコンクール	絵画ポスターコンクールへの市内小中学生の応募者数	470人	152人	32.3%
	視察研修参加者数	市民の会主催の視察研修への参加者数	25人	13人	52.0%
	茨城県推進大会参加者	青少年健全育成茨城県推進大会への参加者	25人	11人	44.0%

最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	青少年を育てる石岡市民の会会員数	青少年を育てる石岡市民の会に加入している戸数	11,500戸	9,854戸	85.7%

課題・問題点	小学校区ごとに15支部が組織され、地域に根差して活動していますが、地域の人口減少、会員の高齢化、学校の統廃合などに伴い、会員数が減少傾向にあります。
--------	--

今後の方向性・担当課の自己評価	視察研修(土浦地区研修会)や県推進大会に参加しました。今後も、「会報」の全戸配布や小中高等学校での合同あいさつ運動等の事業により、広く市民に青少年健全育成活動への周知・理解を図り、会員数の確保及び支援体制の強化を目指します。
-----------------	--

点検・評価委員の意見	支部による温度差もあるようだが、総じて会員の高齢化や会員数の減少などにより、活発な活動が困難な状況がみられる。時代の変化もあるので、事業の方向性について検討する必要があるのではないかと思う。
------------	---

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	学校統合再編事業			担当課	教育総務課 学校再編推進室	
第2期基本計画基本施策名	学校教育環境の整備・充実					
事業の目的・概要	児童生徒数の減少に伴う小規模学校を解消するため、石岡市立小中学校統合再編計画に基づき、学校の統合を進めます。					
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)		
		89,361	89,361	100.0%		
	令和7年度	予算額計(千円)				
		17,345				
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度	
	統合に係る説明会等	統合再編に係る説明会等開催回数	1回	1回	100.0%	
	統合検討委員会	統合に向けた検討委員会開催数	3回	3回	100.0%	
	統合計画審議会	統合に向けた審議会開催数	2回	2回	100.0%	
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度	
	小中学校統合再編	小学校 5校 中学校 3校 小中一貫校 2校	10校	20校	50.0%	
課題・問題点	南小学校のグラウンド整備工事が完了し、南小学校の統合に関する事業は完了しました。続いて、府小中学校の建て替えや八郷地区小学校の統合を進めていきます。					
今後の方向性・担当課の自己評価	令和7年1月に石岡市立小中学校統合再編計画を改定し、八郷中学校校区の8つの小学校を令和13年4月を目指して統合する方針を示しています。今後、校舎建設に伴う基本構想の策定、設計業務を進めていきます。					
点検・評価委員の意見	少なくともクラス替えができるくらいの規模が必要だと思うが、他の自治体と比べて統合再編が進んでいないように感じる。八郷中学校校区もそうだが、園部中学校区や国府中学校区についても小中一貫校にする計画になっていると思うので、早期の実現をお願いしたい。					

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	公民館における講座等の開催、団体活動の支援	担当課	中央公民館		
第2期基本計画基本施策名	生涯学習の推進				
事業の目的・概要	各種講座・学級等の開催による学習機会を提供するとともに、各種団体の公民館使用による支援を行います。				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円) 45,851	予算額計(千円) 50,861	執行率(%) 90.1%	
	令和7年度	予算額計(千円) 53,262			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	講座の開催	公民館講座の開催数	20回	26回	130.0%
	公民館まつりの開催	公民館まつりの来館者数	1,100人	798人	72.5%
	公民館利用者数	各種団体の公民館利用の促進	20,000人	23,463人	117.3%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	講座の開催	公民館講座の参加者数	1,000人	894人	89.4%
課題・問題点	生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図る必要があり、そのためにニーズにあった講座を開催するなど、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が求められています。				
今後の方向性・担当課の自己評価	ニーズにあった各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の環境整備、維持管理等を実施します。また、地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。				
点検・評価委員の意見	年配の方が外に出る機会にもなるのでとても有意義な事業だと思うが、若い世代も参加できるようになるとさらに良くなると思う。講座の申込方法については改善がみられるが、更なる検討をお願いしたい。				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課		
第2期基本計画基本施策名	スポーツの振興				
事業の目的・概要	<p>初心者向け、少年少女向けのスポーツ教室・ニュースポーツ大会を開催し、スポーツ人口のすそ野拡大を図り、体力づくり及びスポーツの推進を目的に、幅広い年代を対象としています。</p>				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		694	1,203	57.7%	
	令和7年度	予算額計(千円)			
		1,340			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	競技大会	サッカー・剣道・野球・テニス・武道・ターゲットバードゴルフ大会の参加者数	2,200人	945人	43.0%
	スポーツ教室	初心者ソフトテニス・水中ウォーキング・正しい効果的な歩き方・ヘルスパレーボール教室の参加者数	500人	714人	142.8%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	事業参加者数	大会・教室の参加者数	2,700人	1,659人	61.4%
課題・問題点	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、各種大会が通常開催可能となっていますが、コロナ禍による休止期間を挟んだことで運営能力が低下し、大会を再開できない事業(剣道大会等)が出てきています。</p>				
今後の方向性・担当課の自己評価	<p>今後は、各関係団体が大会運営を続けられるよう連絡調整をより密にし、感染症対策も含めた安全対策を講じながら、生涯スポーツの実施に努めます。</p>				
点検・評価委員の意見	<p>競技団体内での世代交代が進まず、どの団体も高齢化が進んでいるようなので、若い人たちの参加を促すためにも、引き続き支援をお願いしたい。</p>				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	美術展・文化祭等の開催			担当課	文化振興課
第2期基本計画基本施策名	文化芸術の推進				
事業の目的・概要	市民との協働により美術展や市民とつくる美術展等を開催することで、市民の活動の場を提供し、芸術・文化の振興を図ります。				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円)	予算額計(千円)	執行率(%)	
		1,897	2,270	83.6%	
	令和7年度	予算額計(千円)			
		2,270			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	石岡市美術展の出品数	石岡市美術展の出品数	230点	206点	89.6%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	石岡市美術展の出品者数	石岡市美術展の出品者数	200人	153人	76.5%
課題・問題点	美術展は、出品者の高齢化の進展等により、出品者数・出品数が減少傾向にあります。				
今後の方向性・担当課の自己評価	文化芸術推進基本計画に基づき、地域の文化や伝統を守り育て、次の世代へと伝えていけるよう、市民の自主的な芸術活動を支援します。				
点検・評価委員の意見	展示スペースの確保は毎年の課題になっているが、気軽に立ち寄れる場所での開催が重要だと思うので、引き続き来場し易い開催場所の確保に努めていただきたい。また、高齢化に歯止めをかけるためにも、若い人たちの出品を増やすことが重要なので、高校への声掛けなどを積極的にお願したい。				

令和6年度事業 点検・評価表

事業名	文化芸術活動団体への支援	担当課	文化振興課		
第2期基本計画基本施策名	文化芸術の推進				
事業の目的・概要	市民が主体となった芸術・文化活動を推進するため、文化協会やアート協会等の活動を支援します。				
事業コスト	令和6年度	決算額計(千円) 2,616	予算額計(千円) 3,145	執行率(%) 83.2%	
	令和7年度	予算額計(千円) 2,372			
事業内容活動指標	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	石岡アート協会 会員数	石岡アート協会の会員数	180人	99人	55.0%
	石岡市文化協会 会員数	石岡市文化協会の会員数	2,500人	2,178人	87.1%
最終目標達成度	名称	内容	目標値	R6実績	達成度
	石岡市文化協会 会員数	石岡市文化協会の会員数	2,500人	2,178人	87.1%
課題・問題点	高齢化の進展等により芸術文化活動に取り組む人が減少していることから、市民の幅広い参加を促進する取組を進めていく必要があります。また、市民会館の閉館により、活動場所の確保が課題となっています。				
今後の方向性 ・担当課の自己評価	本市には芸術文化を愛好する市民や団体が多いことから、市民の自主的な活動の成果を発表するための場所や機会の提供を継続していく必要があります。今後は、活動場所の確保に向けて、関係機関との協議を進めます。				
点検・評価委員の 意見	若い人たちが団体に加入せず、高齢化が進んでいる状況がみられる。日ごろの成果を発表する機会があれば目標にもなると思うが、活躍の場が無いということも課題になっていると思うので、引き続き支援をお願いしたい。また、小中学校での出前授業なども、文化芸術に触れるよいきっかけづくりになると思うので、各団体にも積極的に取り組んでいただくよう働きかけていただきたい。				

4. 令和6年度教育委員会の点検評価における点検・評価委員の意見に対する令和7年度の実施状況 ⇒

(1)発掘調査事業についての意見

発掘調査箇所数が目標を超えており、出土した遺物の適正な保存管理に向けた施設の確保を進めていただきたい。

(1)発掘調査事業についての取組

令和7年度は遺物保存用キャビネットを購入し農村資料室内に設置したことにより、一部の重要な遺物は温湿度管理のもと適正に保管できるようになりました。

そのほかの遺物についても適正に保存管理・公開ができるように、統廃合等により未利用となる公共施設活用の検討を含め、施設の確保を目指していきます。

(2)文化財保護保存及び普及経費についての意見

石岡市の歴史や文化財に対する理解や関心を高めるため、石岡のおまつり等とその歴史的背景、地域の営みをタイアップして紹介するなど、別視点からの普及啓発の方法を検討してはどうか。

(2)文化財保護保存及び普及経費についての取組

ふるさと歴史館では、令和7年度の企画展において、単に昔の道具を展示・紹介するのではなく、地域に伝わる昔話等を紙芝居で紹介し、その昔話に登場・関係する道具等を展示するという試みを行いました。

今後も歴史や文化財に対する理解や関心を高められるように、様々な普及啓発の方法を検討していきます。

(3)筑波山地域ジオパーク推進事業についての意見

それぞれの地域資源について、その時代の地域の様子や人々の生活に思いをはせるような視点を組み込み、観光・文化・教育の視点から活用を図っていただきたい。

(3)筑波山地域ジオパーク推進事業についての取組

案内板の設置や講演会・ツアー等の開催、市内小中学校のふるさと学習でのジオパークの活用等を引き続き進めるとともに、構成6市や認定ジオガイドと連携し、様々な視点からの活用を検討していきます。

(4)スポーツイベント事業についての意見

第1回ハーフマラソンが無事に開催できた点について評価したい。参加者や観戦者等の意見を次の大会に反映させ、よりよい大会にしていきたい。

また、恋瀬川サイクリングロードなどの地域資源を活用した新たなイベントも検討していきたい。

(4)スポーツイベント事業についての取組

安全性や感染症等を含めた対策を講じながら、当市の特色を取り入れたハーフマラソン及び地域資源を取り入れたトレイルランを実施しています。

今後は、特色や地域資源を取り入れた自転車事業等も展開できるよう、魅力ある事業開催に努めます。

(5)放課後児童健全育成事業についての意見

子ども同士の交流の場にもなっているようなので、引き続き安心して利用できる施設運営をお願いしたい。

また、配慮を要する児童が増加傾向にあり、対応が難しくなっていると思うので、そうした児童への適切な対応もお願いしたい。

(5)放課後児童健全育成事業についての取組

放課後児童クラブは、様々な学年の児童が集まる相互理解や子どもの健全育成に有意義な場なので、引き続き児童や保護者にとって安心できる居場所の提供に努めています。

また、配慮を要する児童が増加傾向にあることについては、委託業者において必要に応じて支援員を増員しているほか、教育支援担当部署や子育て支援担当部署との情報共有を強化しています。

(6)家庭教育推進事業についての意見

どのような家庭でも子育てに何らかの悩みを抱えていると思うが、一方で家庭教育支援員が対応した家庭数は少数にとどまっている。悩みを抱える保護者や家庭が孤立することなく支援につなげることができるよう周知を図るとともに、相談しやすい環境の整備をお願いしたい。

(6)家庭教育推進事業についての取組

家庭教育支援員が相談を受ける訪問型家庭教育については、チラシを一新したうえで市報に折り込み、全戸配布を行ったほか、家庭教育学級や子育て学習講座などにおいても周知を行っています。

今後も、さらなる周知徹底を図り、相談しやすい環境を整備していきます。

(7) 学校いきいきプラン推進事業についての意見

限られた予算を有効に活用していくため、既存事業の優先順位を見直しつつ、喫緊の課題となっている自然災害や人口減少問題などの社会問題について考える力を育む機会として本事業を活用していくよう、教育委員会としても引き続き学校への助言、指導を実施していただきたい。

(7) 学校いきいきプラン推進事業についての取組

既存の教科にとらわれることなく、各小中学校の独自性を尊重しながら事業を進めています。これまでのところ、事業計画に反映された事例はありませんが、児童生徒の生きる力を養うことも、本事業の目的の1つになっていますので、積極的に実施していただけるよう、学校への働きかけを行います。

(8) 語学指導事業についての意見

グローバル化が進む中で、学校での外国語学習を、いかに私生活に生かす言葉としていくことができるかが重要である。小規模校合同での学習や文化交流を交えての指導など、これまでと異なる指導方法も検討していただきたい。

(8) 語学指導事業についての取組

中学校においては、1対1や3・4人のグループに対して、1人の先生を設定したオンライン英会話を行いました。また、小学校6年生と中学校1年生がオンラインでつながり、英語を使っての紹介をする予定です。ALTの英語を聞いたり、やりとりしたりする活動を増やすなど、言語活動の充実を図っていきます。

(9) 学校給食調理事業についての意見

給食の実施にあたり、食中毒や事故等がなかったことは素晴らしい。食材の高騰などの課題はあるが、引き続き学校や家庭と連携して事故等の未然防止に努めていただきつつ、今後も地場産物の活用や食物アレルギー対策を徹底していただきたい。

(9) 学校給食調理事業についての取組

衛生管理の徹底と毎日の施設器具等の点検により食中毒や大きな事故等は発生しませんでした。さらなる衛生管理に努めます。

令和7年度は、有機農産物の賄材料費については、農林水産業費の補助金が該当したことから、前年度より大幅に増加しました。

栄養教諭との連携によりさらなる食育の推進を進めます。

(10)放課後子ども教室推進事業についての意見

小学校全校で放課後子ども教室を実施しており、その参加人数も目標を上回る数値となっている。引き続き関係各所と連携しながら事業の充実を図るとともに、活動場所の確保に努めていただきたい。

(10)放課後子ども教室推進事業についての取組

今年度も引き続き、子どもたちの自主性や創造性、社会性等を育むため、委託業者の事前計画に対して指導・助言し、学校や委託業者と緊密に連絡調整を図りながら、児童の安全・安心を確保した上で事業の充実に努めています。

(11)青少年相談員体制推進事業についての意見

青少年相談員による街頭巡回指導は、非行防止や健全育成になくてはならない活動である一方、相談員の高齢化やなり手不足が進んでいる。こうした中で新たな相談員を確保するためには、新たな切り口も必要になると思うので、関係機関や団体等との連携を視野に入れていただきたい。

(11)青少年相談員体制推進事業についての取組

青少年相談員については、学校や団体などから、PTA、生徒指導担当教員、民生委員・児童委員、相談員経験者を推薦していただき、今年度は59名の相談員を委嘱しています。

相談員の確保のため、現在、新たな関係機関や団体等との連携について検討しています。

(12)青少年を育てる石岡市民の会等による青少年育成活動支援事業についての意見

以前は子ども会と連携した事業を行っているところもあったようだが、現在はそういった事業もなくなってしまっている。団体の活動支援なので難しい部分もあると思うが、活発な活動ができるよう周知・啓発を進めていただきたい。

(12)青少年を育てる石岡市民の会等による青少年育成活動支援事業についての取組

青少年を育てる石岡市民の会の活動をまとめた「会報」を作成して市報に折り込み、全戸配布をすることで、市民の会が実施している様々な事業を周知しています。

今後も引き続き、市民の会の活動が継続できるよう、事務局として事業の企画・運営を補助していきます。

(13)子ども会育成事業についての意見

少子化が進む中、子ども会のあり方についても検討が必要な時期にきていると思う。一部の学校には単位子ども会は存続しているとのことなので、引き続き支援をお願いしたい。

(13)子ども会育成事業についての取組

令和4年度末で石岡市子ども会育成連合会（石子連）が解散となったのち、令和5年度以降は単位子ども会会員の安全会加入の手続き、単位子ども会事業についての相談や助言、備品の貸し出し等を行っています。

今後も引き続き、地域の子ども会活動を支援していきます。

(14)小中学校コンピュータシステム整備事業についての意見

校務用システムの更新により、さらに事務の効率化やセキュリティの強化が図られることは喜ばしいこと。教職員のなり手不足といわれる中で、業務改善につながるよう、ネットワークの無線化等の利便性向上にさらに取り組んでいただきたい。

(14)小中学校コンピュータシステム整備事業についての取組

統合型校務支援システムについては、セキュリティ対策の一環として閉域網での接続となっています。

また、校務用パソコンの入れ替えも完了し、セキュリティの強化（指紋認証及び物理キーの多要素認証）を行いました。今後、教室内でも校務用パソコンが無線接続できるよう検討しています。

一方で、校務支援システムについては、県内で共同のシステム調達を計画しており、将来的に異動等による教員負担を軽減できるものと考えています。

(15)学校統合再編事業についての意見

学校は、勉強を教えるだけでなく人との関わり方等を学ぶ場でもあり、ある程度の人数がいることでより指導効果も高まることから、児童生徒を第一に考えて統合に向けて進めていただきたい。また、閉校となった学校施設の利活用についてもさらに検討いただきたい。

(15)学校統合再編事業についての取組

小学校（南・府中）について令和6年4月に統合を行いました。八郷地区小学校の枠組みについては、令和7年1月に石岡市立小中学校統合再編計画の改定を行い、令和13年4月の統合を目指し、校舎建設に関する基本構想の策定を進めています。

閉校となる学校施設については、北小学校は学校教育課による不登校支援等の施設である適応指導教室あすなろ等を府中小学校敷地内から移転し、令

和7年4月から石岡市教育支援センターとして運用を開始しています。残りの3校については、民間提案を求めるためサウンディング調査を実施し、今後、活用事業者を決定するための公募型プロポーザルを政策企画課主導で実施する予定です。

(16) 図書館ブックスタート事業についての意見

親と子で読書に親しむ機会を創出するうえで、図書館でこのような事業を実施することは意味があることであり、今後も、読書への関心や図書館利用の促進につなげていただきたい。

(16) 図書館ブックスタート事業についての取組

4～5カ月児健診時の絵本の進呈、1歳児健診時の読み聞かせを行うブックスタートの拡充事業として、令和6年度から2歳児健診時に絵本の進呈や図書館の利用案内を行うセカンドブック事業を新たに開始しました。これらの事業を通して、子どもたちの本への親しみや親子での読書習慣化への支援、さらには図書館の利用促進を図ります。

(17) 公民館の事業についての意見

講座の実施にあたっては、人気講座を動画配信するなど広く市民の興味を引く発信方法を工夫したり、インターネット申込による利便性の向上、フリーWi-Fi導入による環境整備等を進めていただきたい。

(17) 公民館の事業についての取組

公民館の利用者や若い世代の方々のニーズを調査するために公民館講座終了時にアンケートを引き続き行っています。

アンケート内容、講座内容等を各館で共有し、公民館活動を活発にしていきたいと思えます。

また、講座募集要項を市報折込だけでなく、石岡市のホームページに掲載し、また、市公式Facebook・X（旧Twitter）に記事掲載を行い、若い世代にも幅広く周知を行いました。次年度以降も同様に情報発信を行っていききたいと思えます。

導入したフリーWi-Fi（移動式）を活用し、スマホ講座を開催しました。申込者多数で抽選を行う講座となりました。講座のインターネット申し込みについては、令和7年度からの実施に向けて関係課と調整し準備を行いました。（令和7年度前期講座では、中央公民館講座で実証実施、夏休み親子及び後期講座から中央、石岡4館で実施）

(18)スポーツ振興事業についての意見

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、令和5年度も大会・教室の参加者は増えていない。各団体の意向もあると思うが、生涯スポーツとしての取組も重要であることから、機会の確保を図っていただきたい。

(18)スポーツ振興事業についての取組

取組については、開催不可事業が発生したことを含め、安心して参加できる環境づくり・各団体との連携強化・参加促進と意識づくり・行政地域の支援体制等に努めます。

(19)美術展・芸術祭・文化祭等の開催事業についての意見

高校生など若い世代の参加を促す取り組みを進めるとともに、気軽に市民が足を運ぶことができる場所で開催することで広く市民に興味を促し、出品者の増加につながるよう積極的に取り組んでいただきたい。

(19)美術展・芸術祭・文化祭等の開催事業についての取組

令和7年度は美術展について、通常の人郷総合支所での開催のほか、本庁舎メロディアスホールでの受賞作品展の開催を予定しています。
今後も、来場者・出品者の増加につながるような取組を検討していきます。

(20)文化・芸術関係団体への支援事業についての意見

高齢化の進展等により、アート協会、文化協会ともに会員数が減少傾向にあり、後継者の育成は課題である。若い世代が関心を持つよう各学校への働きかけを行うなど、市民の幅広い参加につなげるよう検討していただきたい。

(20)文化・芸術関係団体への支援事業についての取組

各種団体の小中学校との連携を引き続きサポートし、会員数の増加及び後継者育成を図っていきます。また、各種事業の開催にあたっては市報やホームページのほか、SNS等での発信を行い、若い世代が関心を持つような情報発信も進めていきます。

5. 参考資料

参考資料①

石岡市教育委員会事務局組織機構（R 7 . 4 . 1 現在）

教育長	部長	次長	教育総務課	小学校 15 校 中学校 5 校
			参事学校再編担当兼教育支援担当	学校再編推進室
		次長兼営繕担当	学校教育課	教育支援センター
			生涯学習課	中央図書館
			文化振興課	
			中央公民館	府中地区公民館 東地区公民館 城南地区公民館 国府地区公民館
			スポーツ振興課	石岡運動公園 八郷総合運動公園
			学校給食課	石岡学校給食センター 八郷学校給食センター

石岡市教育事務点検・評価委員要綱

平成20年11月20日
教育委員会告示第43号

(設置)

第1条 石岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うに当たり、同条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、石岡市教育事務点検・評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員は、次に掲げる事項について調査を行う。

- (1) 教育委員会が行う事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項。

(委嘱)

第3条 委員は、3人以内とし、学識を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任は妨げない。

(その他)

第5条 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

発行 令和 8 年 1 月
編集 石岡市教育委員会事務局 教育総務課
〒 3 1 5 - 0 1 9 5
茨城県石岡市柿岡 5 6 8 0 番地 1
TEL 0 2 9 9 - 4 3 - 1 1 1 1
FAX 0 2 9 9 - 4 3 - 1 1 1 7